

地域提案型

平成20年度 採択内定案件

I. 提案事業の概要	
1. 国名	中華人民共和国
2. 事業名	安順市における環境保全管理研修
3. 事業の背景と必要性	<p>貴州省は中国内陸部に位置し中国で最貧困の省である。その中、安順市は急速に経済発展をしてきたが、環境への配慮が行われてこなかった結果、局地的な環境汚染が問題となっている。このような理由から、安順市は近年環境保全を重視し、観光資源を活かした環境立市を目指している。</p> <p>平成20年には、宇部市及び宇部環境国際協力協会から貴州省・安順市に2名の専門家を派遣し、環境破壊の現状・環境モニタリングの現状を調査した。その結果、安順市は宇部市と似た産業構造を有し、環境への関心も高い事が確認された。</p> <p>宇部市は戦後の産業発展とげる中、ばいじん汚染が大きな問題となった。そこで市民の環境を守るために、全国に先駆けて条例に基づいた「産・官・学・民」からなる「宇部市ばいじん対策委員会」が設置し、相互信頼と協調の精神をもって、話し合いにより、全市民が一体となって環境問題に対応する「宇部方式」を確立した経験がある。宇部市は「宇部方式」技術を安順市に伝え、環境改善に貢献する計画である。貴州省としても、本事業を通して安順市を省内の環境モデル都市として位置付け、省内での環境保全対策を進める予定である。</p>
4. 事業の目的	<p>「宇部方式」をもとにした環境行政が推進され、安順市に適した環境管理体制が構築される。</p> <p>安順市が貴州省の環境行政モデルとして確立される。</p>
5. 対象地域	中華人民共和国（貴州省安順市）
6. 受益者層	貴州省安順市環境保護局職員および地域住民
7. 活動及び期待される成果	<ol style="list-style-type: none"> 1. 安順市及び貴州省の環境保護局が「宇部方式」を理解する。 2. 企業及び住民の一部が「宇部方式」を理解する。 3. 汚染発生源の自主管理、報告体制、危機管理体制及び行政のモニタリング体制等を習得する。 4. 廃棄物の処理、ごみの分別収集、リサイクルに関する手法を習得する。
8. 実施期間	平成21年8月～平成23年3月
9. 事業の実施体制	<p>提案機関：宇部市</p> <p>実施機関：宇部環境国際協力協会</p> <p>協力機関：山口県、宇部市、山口大学、市内企業等（宇部興産（株）、（株）PET、中国電力（株）、共英製鋼（株））</p>
II. 応募団体の概要	
1. 団体名（提案自治体）	宇部市環境部環境国際協力協会（山口県宇部市）
2. 対象国との関係、協力実績	宇部市は中国山東省威海市と友好都市の関係にあり、平成16年～平成19年に草の根技術協力事業（地域提案型）威海市個別研修「環境保全パートナーシップコース」を実施し、中国での環境保全に貢献している。先行事業の広がりから貴州省環境保護局の技術研修依頼を受け、平成20年に宇部市及び宇部環境国際協力協会の専門家2名が安順市に出向き、環境状況・環境モニタリングにかかわる調査を実施した。